

平成 22 年度 大垣市民病院地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 23 年 2 月 4 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで
開催場所	2 病棟 1 階会議室
議題	(1) 委員長並び副委員長の選出について (2) 地域医療支援病院について (3) 地域医療支援病院への取り組み状況
出席委員	委員長 山川 隆司（大垣市医師会長） 副委員長 杉山 勝治（大垣歯科医師会長） 委員 和田 育穂（大垣市医師会） 委員 近藤 潤一郎（大垣市医師会） 委員 片野 雅文（大垣歯科医師会） 委員 村瀬 利明（薬剤師会大垣支部長） 委員 内田 一之（大垣市教育長） 委員 新井 美保子（日本中央看護専門学校副校長） 委員 竹中 昌子（大垣市連合婦人会長）
会議の公開	公開
審議概要	(1) 委員長並び副委員長の選出について 次のとおり選出した。 委員長：大垣市医師会長 山川 隆司 氏 副委員長：大垣歯科医師会長 杉山 勝治 氏 (2) 地域医療支援病院について <地域医療支援病院> 地域医療支援病院は二次医療圏に 1 つ以上存在が望ましいとされている。西濃圏域には存在しないため、医療体制の充実を図るため、岐阜県知事へ、地域医療支援病院の名称使用の承認を受けるため申請中である。 <承認要件> ①紹介率 40%以上、逆紹介率 60%以上、②病院施設、設備の病診共同利用、③24 時間体制で重症患者に救急医療を提供する、 ④地域の医療従事者の資質向上を図るため研修の実施、⑤病床規模が 200 床以上、⑥委員会の設置と年 4 回の開催 (3) 地域医療支援病院への取り組み状況 <紹介率> 平成 21 年度（月平均）：40.2%、平成 22 年 4 月から 12 月まで（月平均）：44.4% <逆紹介率> 平成 21 年度（月平均）：73.6%、平成 22 年 4 月から 12 月まで（月平均）：82.5% <共同利用> ①施設：医療機器、開放型病床、会議室、図書室、医薬情報管理室、臨床検査に係る施設等 (質問) 薬薬連携として、クリーンベンチ（無菌実験室）を利用できるか。 →利用できる。ただし事前に連絡するのがよい。 ②設備：胃カメラ、CT、MRI、心エコー、PET-CT 等 ③検査件数(地域連携予約)：平成 21 年度合計 1,021 件（月平均 85 件）、平成 22 年 4 月から 12 月まで合計 920 件（月平均 102 件） ④救急医療：平成 21 年度：救急受診者数 45,853 人（月平均 3,821 人）救急車利用 8,705 件（月平均 725 件） 平成 22 年 4 月から 12 月まで：救急受診者数 33,235 人（月平均 3,693 人）救急車利用 7,482 件（月平均 831 件） <医療従事者向け研修> ①内容：コメディカルオープン勉強会、医療安全研修、病診連携カンファレンス、緩和ケア研修等 ②開催状況(医療従事者向け研修)：平成 21 年度 開催数 39 回、受講者数 2,657 人、平成 22 年度 開催数 27 回（予定）

	<p>(質問) 情報提供している場に参加してみたいが。 →市民公開講座について広報やホームページに掲載する。周知方法は、院内の各委員会で検討させる。</p> <p>&lt;開放型病床&gt;平成 22 年 6 月より設置</p> <p>①登録医：平成 23 年 1 月末現在 合計 69 人（医師会 63 人、歯科医師会 6 人）</p> <p>②利用状況：平成 22 年 6 月 利用率 25.3%</p> <p>(質問) 小児科で、脱水や肺炎で 2・3 日使用できるようにしてほしい。 →小児科の病床を検討する。</p>
次回開催	平成 23 年度第 1 回は 6 月の開催とする